

第2ブロック研究部

No. 10

令和6・7年度 研究主題

自分の思いを表現する楽しさを味わう幼児を育てる
—かいたり、つくったりする中で—

第4回 研究部会 令和7年9月12日（金）場所 桜宮幼稚園
第75回造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会（大阪大会）
実践発表のパワーポイント視聴

○パワーポイントを視聴し、各園ごとに討議を行った。

- ・もう少しゆっくり読んだ方が印象に残る。
- ・画面にある教師の働きかけや環境について、読む方が分かりやすい。
- ・話し言葉が多かった。状況説明をして会話を減らすとよい。
- ・全体的に、文字を大きく見えやすい色にしてはどうか。
- ・表現を楽しむ過程の分類の図の色使いについて、実践記録では教師の働きかけがピンク、環境が青で混乱する。全く違う色にしたがよいのではないか。
- ・去年のまとめのスライドは、パワーポイントの写真を資料として配布してはどうか。
- ・全国の発表で、他府県から来られる方が大半であるため、大阪市立幼稚園教育研究会の説明を入れるとよいのではないか。
- ・実践記録で、スライドには教師の働きかけや環境も詳しく書かれているが、読み原稿では読んでいないところもある。読んだ方が考察にもつながっていくのではないか。など



実技研修（3園より）

<ウォッシング>

- ・濃く溶いた絵の具で画用紙に絵をかき、上から墨を塗る。太めの筆で一定方向に塗ると綺麗になる。手に付かないくらいに乾いたら、水でやさしく洗い流すと、絵の具でかいた部分が浮かび上がる。
- ・4歳児はスタンピング（スポンジや家庭からもってきた素材など）でウォッシングを行った。
- ・5歳児は白いクレパスで絵をかいて白い絵の具を塗り、更に黒い墨を塗ってウォッシングを行った。また、朱墨でも行った。

○絵の具の濃度が薄かったり、絵の具が乾いていなかったりする状態で流し、上手く絵が浮かび上がらないため、教材研究をし技術を身に付けることも必要である。



4歳児 スタンピングでウォッシング

＜寒天遊びと小麦粉粘土遊び＞

- ・寒天を大量につくって遊んだ。棒寒天を細かくちぎって水につけ、ふやかした後、軽く絞る。鍋に寒天の規定の水を入れ、更に寒天を細かくちぎっておく（細かくちぎるほど時短になる）。鍋で完全に溶けるまで煮込む。色を付ける場合は食紅を入れて溶かしておく。冷蔵庫に入れて保管し使用する。
 - ・ままごとの包丁で切ったり、手でつぶしたりして遊ぶことができる。色水や泡遊びと組み合わせて遊ぶこともできる。遊んだ後の寒天は、煮立たせて再利用できる。再利用できるように混ぜても綺麗な色を組み合わせでつくった。
- 小麦粉遊びでは、粉から粘土になる過程を楽しんでほしいと思い、少しずつ水を入れて、粘土にしたり、沢山水を入れてベチョベチョにしたりして、粉から遊んだ。心地よい硬さを見つけて遊ぶ姿が見られた。

＜野菜の水切りを使った技法＞

- ・野菜の水切りの底に丸く切った画用紙を入れる。そこに絵の具を垂らす。絵の具ポットに入っている筆から垂らしてもよいし、お醤油入れに絵の具を入れて垂らしてもよい。色が混ざっても綺麗な3色程度の色を使う。
- 幼児たちは、「グルグルグルグルー」と言いながら回していた。その後、蓋を開けると絵の具がはじけて綺麗な模様ができています。偶発的にできた模様を、いろいろなものに見立てて遊んでいた。



3歳児 野菜の水切りを使った技法